

基本的施策Ⅲ 良質な堆肥生産と流通

環境にやさしい畜産経営を実現するためには、家畜排せつ物の適正な管理はもとより、耕種農家が使いやすい良質な堆肥を生産し、広域に流通させることにより、家畜排せつ物の地域的な偏在の影響を解消し、農業全体で資源を有効利用することが重要です。

このため、農業者に対してその重要性を継続して周知するとともに、グリーン農業に取り組む農業者の土づくり資材として堆肥の利用を進め、畜産が盛んな地域とグリーン農業に取り組む地域が手を結んだ堆肥の広域流通を進めていきます。

堆肥の保管施設や運搬に必要な車両の整備への支援を通じた耕畜連携による広域流通の更なる促進と、良質な堆肥作りを進めるための研修会開催などによって、グリーン農業に取り組む農業者のニーズに合った良質な堆肥作りを進めます。

・プログラム（具体的取組）Ⅲ－1

良質な堆肥の生産推進

目標指標：たい肥の達人認定者数 26人 → 30人

アクション1 畜産農家の良質な堆肥生産に必要な情報の提供

ホームページ「くまもと堆肥ネット」に、堆肥の水分調整方法や効果的な発酵方法等に関する情報を掲載し、良質な堆肥製造に向けた畜産農家の技術向上を図ります。

また、良質な堆肥を製造している畜産農家等の活動事例報告などをテーマとした、堆肥の品質向上のための研修会を開催します。

加えて、堆肥の製造スキルを向上させるための各種技術の発表や、堆肥の広域流通の先進事例を紹介するセミナーを開催します。



アクション2 堆肥共励会の開催等

堆肥の品質を競う堆肥共励会を開催し、畜産農家の良質堆肥製造に対する意欲向上を図るとともに、耕種農家にもこれらの活動を周知し、関心を高めることで、堆肥の消費拡大につなげていきます。

土づくり研修会の開催を通じて、畜産農家が、作物や地域毎に必要とする品質基準に関する情報を得て、品質向上につなげていけるような環境を整えます。

・プログラム（具体的取組）Ⅲ－２

堆肥の広域流通の推進

目標指標：堆肥の広域流通量 74,011 t → 92,000 t

アクション1 堆肥の広域流通促進

堆肥の広域流通に取り組む協議会が、堆肥の保管施設、運搬に必要な車両、堆肥の散布機等を整備・導入し、堆肥の広域流通量を増加させる取組みを支援します。

ホームページ「くまもと堆肥ネット」に堆肥の生産販売情報を掲載し、堆肥を必要とする耕種農家と畜産農家の連携を図ります。また、堆肥の広域流通の先進事例を掲載することで、新たに広域流通に取り組む者に情報を提供します。



アクション2 グリーン農業産地とのマッチング

グリーン農業に取り組む地域と畜産地域において、耕種農家と畜産農家が堆肥について意見交換を行う機会を創設します。